

CARATS施策の全体の進捗状況について

CARATS事務局 2019年 3月14日



2018年度の主要な活動

1. 施策の検討

	件数	主な検討結果(概況)
1)重点的に取り組むべき施策 (重点7施策) 【第7回(2017.3開催)設定】	7	「初期的CFDT」の2020年度再試行に向けた運用方法案の策定、また、「SWIM」の実現に向けた検討について、事務局より提案
2)2018年度意思決定(予定)施策	9	うち、7施策の「導入意思決定」を事務局より提案
3)導入前施策及び2018年度導入予定施策のフォローアップ	13 (今回報告分)	「滑走路面異物検知装置」、「空港CDM」、「後方乱気流に 起因する管制間隔の短縮(フェーズ1,2)」及び「2018年度 導入予定施策」(9施策)の進捗確認

2. 横断的な取組

	主な取組結果(概況)
1)機上側装備の対応促進に関する検討	・適合率が低い(装備が進んでいない)機上装置の原因・理由分析 ・装備促進策の検討
2)CARATS目標指標に関する検討	悪化指標(利便性)の詳細分析
3) 航空交通分野研究者の裾野拡大 に向けた取組の実施	・「オープンデータ」提供拡大、「オープンデータフォーラム」開催 ・「研究成果の広報・PR資料」のCARATS事務局HPサイトへの掲載

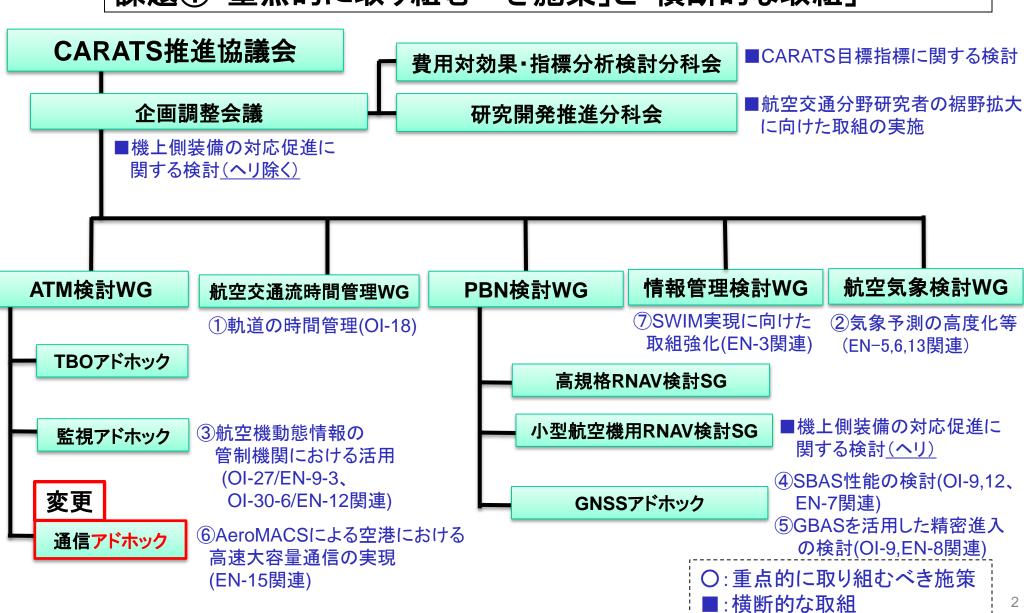
3. その他

	主な取組結果(概況)
1)ロードマップの見直し	重点7施策、2018意思決定施策の検討結果等を踏まえ、一部を変更
2)CARATSの広報・PR活動	CARATS事務局のHPサイト(国交省HP内)のリニューアル等を検討
3)国際動向に関する調査・検討	ICAO・欧米動向等を踏まえた施策検討

CARATS Collaborative Actions for Renovation of Air Tr

【参考】2018年度の検討課題と体制(1/2)

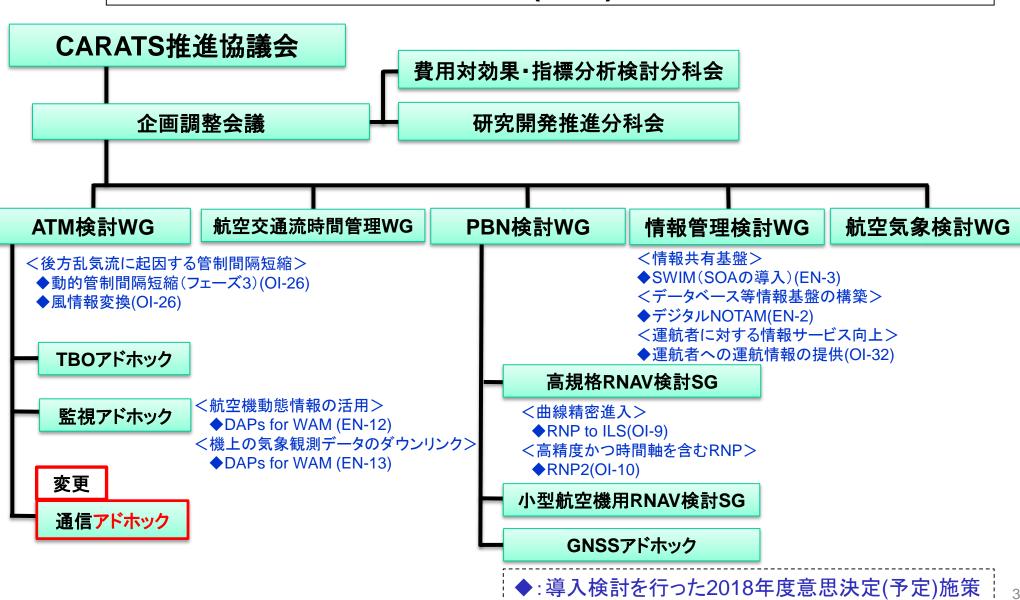
課題①「重点的に取り組むべき施策」と「横断的な取組」



CARATS

【参考】2018年度の検討課題と体制(2/2)

課題② 2018年度の意思決定(予定)施策:9施策





PBN導入展開計画(案)

RNAVロードマップ(2007年第2版)の改訂版として策定

【期間の設定と目標】

短期(~2020年度)

中期(2021~2024)年度) : 全飛行フェーズにおけるRNP化の推進

長期(2025年度以降) : 軌道ベース運用の実現

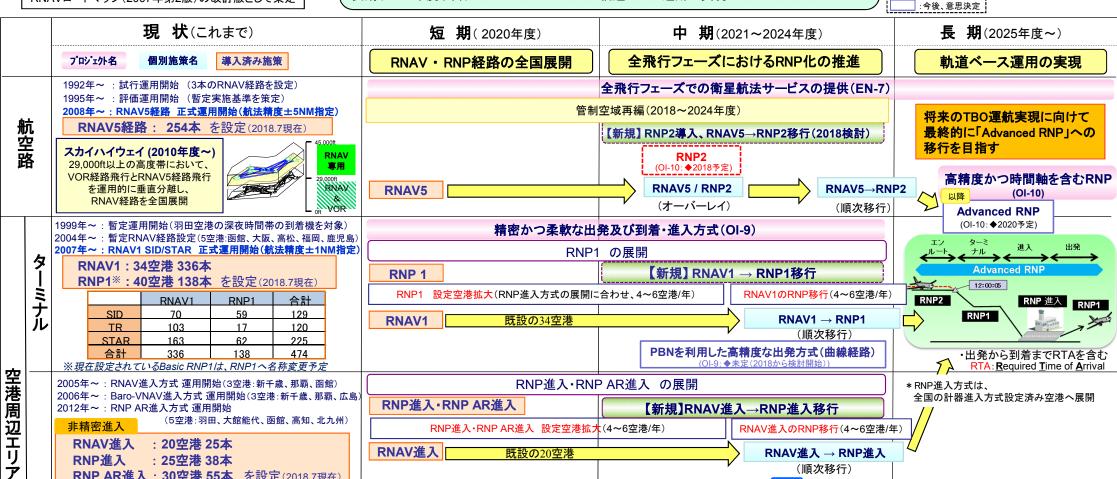
: RNAV RNP経路の全国展開

□点:重点的取組施策 :意思決定年度 :2018 意思決定

別紙1-2

2019年 3月14日

第9回CARATS推進協議会



RNP准入 : 25 空港 38本 RNP AR進入: 30空港 55本 を設定(2018.7現在) RNP-AR進入 <大館能代空港の例> 飛行距離:16NM(30km)減 (約5分短縮)

(注)設定済の経路・方式は、一定期間(原則5年以内)毎に見直しを行う。 利用頻度の少ない経路・方式(既存、PBNとも)は、廃止も含めた検討を行う。

小型 航空機

低高度RNAV経路 2014大島~八丈島方面 RNAV5経路導入



*2019~ 評価運用開始予定

重点 2020年度~

直線精密進入

(OI-9,EN-8: ◆2014) GBASを用いた精密進入(GLS)

GLS(CAT-I)進入

曲線精密進入

RNP to ILS進入 (OI-9,EN-8: ◆2018予定) 重点 2023年度~ RNP to GLS進入

重点

衛星航法による(曲線)精密進入(EN-8)

(OI-9,EN-8: ♦2014)

(順次移行)

2024年度~

SBAS- LP/LPV准入

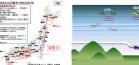
(OI-9.12.EN-7: ◆2017)



(曲線RFレグ)







SBASを用いた垂直ガイダンス付き進入(LPV)

重点

*準天頂衛星7機体制に対応したSBAS性能向上

GLS(CAT-II)進入

低高度航空路の設定(OI-11)、小型航空機に適した出発及び到着・進入方式の設定(OI-12)

2018~ 全国(太平洋側、日本海側、北海道方面)へ順次展開予定 (OI-11) ヘリ専用飛行方式(PinS、CAT-H) **PinS**

(OI-12: ♦2010)

ヘリ専用飛行方式 2018.4.26より福島空港にて試行運用開始

CAT-H

2018~評価運用開始 以降、追加導入検討予定